おはようございます。維新の会、辻信行です。

令和3年度予算案並びに関連議案について、維新の会を代表しまして、安浪順一、西藤彰子、私、辻信行が総括質疑をさせていただきます。先輩、同僚議員の皆様におかれましては、しばらくの間、御清聴よろしく申し上げます。また、重複する部分もあるかと思いますが、我が会派の思いでありますので、御容赦のほどよろしくお願いいたします。

【私道に設置されている町会灯への助成等について】

まずは、私道に設置されている町会灯に関してお伺いします。

昨年9月から何度も質問をさせていただいているところですが、質問後すみやかに調査の費用を予算化していただき、具体的に各単位福祉協会へのアンケート調査などを実施していただいていることに対し、まずは感謝申し上げます。多くの地域が抱える重要な課題となっており、犯罪などの防止の観点からも、ぜひ助成制度の創設につなげていただきたいとの思いから、重ねて確認をさせていただきます。

アンケートの回収状況は、約68%とのことで、単位福祉協会594団体のうち約400団体から回答が寄せられているとのことです。助成制度の創設については、先日の代表質疑でも「他都市の事例も

参考にしながら検討する」との答弁でした。

約200万円の予算をかけて、今年5月末まで現地調査も行うとのことですので、令和3年度は難しくても、助成制度の令和4年度の予算化に向けて、前向きに取り組んでいただけるものと信じております。

アンケート調査を実施した中で、各地域からこういった声があがっているのか、具体的にお聞かせください。

多くの地域の期待に応えることができるよう、助成制度などを「検討する」ではなく、「実施に向けて取り組む」とのご答弁をいただきたいと思いますが、いかがですか。

【園田西武庫線の新藻川橋の通行等について】

来月から園田東生涯学習プラザが供用開始となり、今月28日にはセレモニーも行われます。新たな会館のオープンにあたり、開通される予定であった藻川に架かる新しい橋は、完成しているにもかかわらず、予定では数年先まで通れない状況になっています。橋の名称も「新藻川橋」となり、地元住民にとっては、毎日の生活の中で

目にするものになっています。できれば歩行者・自転車が通れるように、継続して市からの働きかけを行ってもらいたいと思います。現時点における市の考えをお聞かせください。

すぐには通ることが難しくても、何年も放置される状況だけは避けなければいけません。橋の幅も広く、長さも相当ある立派な空間となっている「新藻川橋」を、ぜひ地元住民に親しみを持ってもらえる橋にするために、通行ができるようになるまでの間、例えば、「新藻川橋」の上を利用したイベント開催するなど、有効な活用を検討していただけないかと考えています。

期間の限られたイベントであれば、警備員の配置などにより、安全に橋を利用することができるのではないのでしょうか。橋でのイベントの開催など、ちょっとした工夫をすることで、通行できるようになるまでの間も、橋の PR とともに、地域住民が「新藻川橋」に親しみを持てるようにできるのではないのでしょうか。

通行ができるようになるまでの間の「新藻川橋」の有効活用について、考えをお聞かせください。

【東京2020オリンピックの聖火リレーについて】

1年延長になっているオリンピックの聖火リレーが、今月下旬からスタートする予定になっています。尼崎市では5月24日に聖火リレーが行われる予定です。コロナ禍での実施にあたっては、先日、組織委員会からコロナ対策についてのマニュアルも示されており、関係部署において実施に向けて準備を進めているとのことでした。

昨年の総括質疑でも質問させていただきましたが、今回も小学生を対象に、サポートランナーを募集するという記事が市報に掲載されておりました。昨年の質疑でのやりとりを踏まえて改めて質問させていただきます。

今回のサポートランナーの募集について、具体的にどのように子どもたちや保護者に情報を届けたのでしょうか。お聞かせください。

昨年は緊急事態宣言を受けての休校期間中でもあり、周知が十分に行えない状況もあったかと思いますが、今年は、学校で募集案内の文書を配ることもできたのではないかと思います。令和2年度のオリンピック関連の予算は、その多くが不要となり、補正予算で減額されています。対象となる全児童に文書1枚を学校で渡すのに、それほど多くの費用がかかるとも思えません。周知方法を検討する

時間も十分にあったと思います。

子どもたちにとって貴重な経験となるサポートランナーの募集について、周知方法が昨年と変わらない状況になったのはなぜですか。説明をお願いします。

【都市農業活性化推進事業について】

農業振興、農地保全については、都市である尼崎市の農地が様々な観点から貴重な財産であるとの認識で、農業行政を応援する観点から、この4年間、質問を続けてきました。「生産緑地の2022年問題」や「認定農業者制度」、「地産地消の取組」、「学校給食での食材の活用」、「野焼きなどの農地と住宅地の共存の問題」など、私なりの観点で取り組んでまいりました。担当部署の方も懸命に取り組んでいただいている状況の中、農業に関する予算は、この4年間、ほぼ増額されていない状況ですが、令和3年度に向けては、大きく事業の転換がなされようとしており、主要事業にもあがっております。今回も農業行政を応援する観点から、質問をさせていただきます。

新たな「都市農業活性化推進事業」では、農業者への補助につい

て、市が用意したメニューから農業者が希望するものを選ぶよう、制度が変更となっています。

制度の見直しに至った経緯と新たな補助メニューについて、具体的にお聞かせください。

内容については農業委員会および農会で説明もされていると思います。

農業者の方の制度変更に対する反応はどういった状況でしょうか。お聞かせください。

残念ながら、予算額についてはこれまでと変わっておりません。

制度の利用を希望する農業者が増えるのではないかと思います。が、予算の増額は検討しなかったのでしょうか、お聞かせください。

補助制度の希望者が増えても1件あたりの助成が減ることがないよう、予算の増額も必要だと思いますが、どのように考えていますか。お聞かせください。

農業者からは、当初、環境改善事業だったのに活性化事業に変わった、他の農業者からは、次年度より自己資金の持ち出しが増えるとの声

も有りました。

環境改善事業の目的で有機肥料の配布を行っていましたが、有機肥料の不足があると「また、牛糞を使おうか」、みたいなお声も伺っています。

分科会質疑で、一農業者単位にしたのは、「小規模農家でも何回も野菜を植え付けている農家が多いから」とのご答弁が有りました。

そこでお伺い致します。

農業者全体でどれくらいの割合の方が何回も植え付け出荷されていますか？

面積割を止めて、認定農業者へ加算措置も行います。農業所得を上げると言う目標の設定も無いのに認定農業者だけ優遇されるのは何故でしょうか？優遇するなら農業者所得の上がる施策を行うべきと考えますが、いかがお考えでしょうか？

【動物愛護推進強化学業について(健康福祉局)】

次に動物愛護推進強化学業についてお伺い致します。

先日の代表質疑において市長より「動物愛護行政の推進において、ボランティアの皆様の協力は必要不可欠であり、今後とも連携を密

にしながら、様々な問題に対処していきたいと考えています。」とご答弁いただきました。

そこでお伺い致します。

では、連携の為の話し合いは、どのように密に行なっていますか？

昨年末、動物愛護推進員の皆さんの総意という事で、推進員代表の方が、具体的な連携について会議を開いてほしいと書面で2度ご提案をされていますが、いまだにご回答いただけません。

また、センターと推進員で情報共有出来るグループメールのご提案を働きかけていますが、必要ないとのご回答のようです。

そこでお伺い致します。

この様な対応でも連携を密にされていると言えるのでしょうか？ご見解をお聞かせ下さい。

今年度、4月から2月末までの猫の相談件数は、286件と言う事で伺いました。月平均26件になります。

愛護センターが人員不足で相談にすぐに対応出来ずに、解決してい

ないと伺いました。

そこでお伺い致します。

ご相談が有ってから最長どれくらい遅れての対応なっていますか？また、市民からの相談のお話を伺うだけで人員不足の理由から対応を放置されたり出来ないとお断りされたりずさんな対応になっていませんか？ご見解をお聞かせ下さい。

そのような中、飼い主不明の猫の取り扱いは、愛護センターと警察で主体的に情報共有するとなっています。

そこでお伺い致します。

飼い主不明猫の取扱いについては、非常に曖昧なので、要は双方でどうするのか整理して対応を決める必要が有ると思いますが、ご見解をお聞かせ下さい。

【市場運営委員会等関係事業について(経済環境局)】

市場運営委員会等関係事業の「今後の市場のあり方」についてお伺

い致します。

昨年行った市民アンケート調査結果では、現地で整備を行う事の是非を質問され「適切と思う」61.2%「よく分からない」30.0%「適切と思わない」3.0%とこの場所有りきの質問で比較対象が無いとわからないと回答される方が増えても仕方ありません。

そこでお伺い致します。

具体的に移設可能な第二工場跡地と比較し概算で掛かる費用も市の財政も含めてご回答を求めるべきでは無かったですでしょうか？ご見解をお聞かせ下さい。

また、今回の協議会報告の資料からは、民間事業者の参画意欲を高めながら、有利に事業を進めるには、土地を賃借するのではなく、民間事業者に有利な売却を選択し、市に有利な条件を引き出していくと読み解けます。

そこでお伺い致します。

本市には、そのような意図はありますか。そうであれば、より高く売却できる一般競争入札も選択肢の一つと思いますが、いかがお考えでしょうか？

【浸水対策について(公営企業局)】

浸水対策、雨水浸透管整備についてお伺い致します。立花町地内において雨水浸透管の整備を令和3年度までの計画で行っています。しかしながら、立花町の浸水対策で浸水被害は、解消出来ず軽減の対応になっています。

そこでお伺い致します。

何故、立花町地内は軽減措置の対応なのでしょうか？

実際に市内で1番浸水が起こり困っている地域であるにも関わらず浸水被害は解消されないのでしょうか？

今回の雨水浸透管整備で10年降雨確率を満たせないのにその後の解消対応策を行わない理由は何でしょうか？

【さわやか推進員制度事業について(経済環境局)】

次にさわやか推進員制度事業についてお伺い致します。

今年度、主要事業でありながら今年度の推進員は、昨年度の約3分

の1程度と全く推進員が増えませんでした。コロナの影響が多大にあると言いながらもこの事業での目標数値も有りません。地域では、今年度から制度を変更されてしまいました。推進員が減少した事により、空白地が有る状態でお困りの事と思います。それで有れば事業を続ける意味がありません。

そこでお伺い致します。

この事業の目的は何ですか？

推進員が昨年度程度集まっていないのは、どのような問題点が有りますか？

推進員がいない空白地にはどのようなフォローをされていますか？コロナが収束すれば、現状の状態が解消出来、昨年度同様の人員で事業を進めていけますか？ご見解をお聞かせ下さい。

以上で私の質問を終わります。